

こんにちは 松坂みち子です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.388 2018.11.14 連絡先 402-1622 >



安全対策がとられました

「中之島の大門川に架かる橋のたもとところが、のり面が急で危険だから何とかしてほしい」というお話をいただき、早速担当課に要望しました。

担当課も現地を見、どういう対策ができるか相談もして2週間余りで、危険なため近づかないようにとの警鐘にポールが立てられました。

ご近所で、お気づきのことがあればどんなことでも結構です。ご相談ください。
090-1702-7310 (松坂)



みち子のひとりごと 沖縄への思い

沖縄本島最北端の辺戸岬には「祖国復帰闘争碑」があり「全国のそして全世界の友人へ贈る」という文が彫られています。全文は裏面に掲載しましたのでご覧ください。

1972年の沖縄の復帰の時、私は15歳。沖縄へ行くときにパスポートがいなくなつた（行く予定はありませんでしたが）くらい認識しありませんでした。多分、テレビなどでそういう報道をしてい

たのだらうと思います。それが県民が求めた復歸の形ではなかつたという事は、この碑文を読んでも思い知らされました。収容所に入れられていた間に米軍に奪われた土地は戻らず、基地は存在し続けました。そういう沖縄の現実を知つたことで、平和を語るには沖縄を知らなければと思ひました。それから機会があれば沖縄に行き、知つたこと、感じたことをより多くの人に、自分ができるいろいろな形で知らせる活動もすすんで行つて行きました。



こんにちは

井本ゆういちです



ました。この主張に玄関先で反論するのは難しいです。

「憲法9条を変えさせない署名」で対話する中で、「ややこしくて、意味が分からない」という人がいます。それには、少し丁寧に説明すればわかってもらえます。

先日は、「9条を変えたくらいで戦争にはならない」「現代の戦争では自衛隊員が前線で命が失われるようなことはない」という主張をする人がい

私たちの世代は、肌身で戦争を体験した世代でもなく、学校の授業でも明治維新以降の近代史はテストに出ないということ、非常に簡単にしか習っていない人が多いと思います。

戦争の悲惨さ、平和の大切さ、憲法9条のはたしてきた役割など、コッソッソ訴えていくしかないのかなあと思いました。

沖縄本島最北端の辺戸岬には「祖国復帰闘争碑」があり「全国のそして全世界の友人へ贈る」という文が彫られています。その全文を紹介します。

吹き渡る風の音に 耳を傾けよ
権力に抗し 復帰をなし遂げた 大衆の乾杯の声だ
打ち寄せる 波濤の響きを聞け
戦争を拒み平和と人間解放を闘う大衆の雄叫びだ
鉄の暴風、やみ平和の訪れを信じた沖縄県民は
米軍占領に引き続き 1952年4月28日
サンフランシスコ「平和」条約第3条により
屈辱的な米国支配の鉄鎖に繋がれた
米国の支配は傲慢で 県民の自由と人権を蹂躪した
祖国日本は海の彼方に遠く 沖縄県民の声は空しく消えた
われわれの闘いは 蠅螂の斧に擬された
しかし独立と平和を闘う世界の人々との
連帯であることを信じ
全国民に呼びかけ 全世界の人々に訴えた
見よ 平和にたたずまう宜名真の里から
27度線を断つ小舟は船出し
舷々相寄り勝利を誓う大海上大会に発展したのだ
今踏まえている 土こそ
辺戸区民の真心によって成る
冲天の大焚火の大地なのだ
1972年5月15日 沖縄の祖国復帰は実現した
しかし県民の平和への願いは叶えられず
日米国家権力の恣意のまま 軍事強化に逆用された



しかるが故に この碑は
喜びを表明するために
あるのでもなく
ましてや勝利を記念する
ためにあるのでもない
闘いをふり返り
大衆が信じ合い
自らの力を確め合い決意を新
たにし合うためにこそあり
人類が 永遠に生存し
生きとし生けるものが
自然の摂理の下に
生きながらえ得るために
警鐘を鳴らさんとして
ある

街頭演説会
11月18日 (日)
10:45~
和歌山駅西口
11月23日 (金)
10:00~
屋形オークワ前
11:00~
加納エバグリーン前